

「第12回 心エコー実技研修会」のご案内

今年も好評いただいております心エコー実技研修会を開催いたします。本研修会は、どの研修会よりも受講者の皆様に少しでも長くブロープを持っていただけることをモットーとしております。例年通り、少人数制にすることにより、いままら聞けないことや日常の悩みなどを、経験豊富な講師陣に気軽に聞ける環境を実現しました。

各コースも充実しており、ひたすらブロープを持って実技のみを行う実技集中コース、基本的事項を中心に学習するベーシックコース、各疾患に応じた病態生理・検査の進め方などを学習するスキルアップコース、さらにすべての講義を聴講し、知識の再確認が行える講義集中コースを設けました。自施設に指導者がいない方、日常の検査にお困りの方、さらなるスキルアップを目指したい方など、皆様のご参加をお待ちしております。

日 時	平成27年10月11日(日) 9:30~18:20 平成27年10月12日(月) 9:30~17:20				
会 場	大阪府医師協同組合(大阪市中央区上本町3丁目1番5号)				
内 容	時 間	実技集中コース (初心者~中級者 対象)	ベーシックコース (初心者~初級者 対象)	スキルアップコース (初級者~中級者 対象)	講義集中コース (初心者~中級者 対象)
1 日 目	9:10 ~ 9:30	受付			
	9:30 ~ 9:35 (5分)	開会・オリエンテーション			
	9:35 ~ 10:15 (40分)	全体講義「大臨技お勤めルーチン検査法」			
	10:15 ~ 10:30 (15分)	移動・休憩	休憩	移動・休憩	休憩
	10:30 ~ 12:00 (90分)	実技講習① (4~5名/1台)	「心エコーに役立つ解剖のいろは」 講義B① 講義B② 「各種計測法のいろは」	実技講習① (3~4名/1台)	「心エコーに役立つ解剖のいろは」 講義B① 講義B② 「各種計測法のいろは」
	12:00 ~ 12:10 (10分)	移動・休憩	休憩	移動・休憩	休憩
	12:10 ~ 13:10 (60分)	ランチョンセミナー①「未定」			
	13:10 ~ 13:20 (10分)	移動・休憩	休憩	移動・休憩	休憩
	13:20 ~ 14:50 (90分)	実技講習② (4~5名/1台)	「僧帽弁疾患の評価法」 講義B③ 講義B④ 「大動脈弁疾患の評価法」	実技講習② (3~4名/1台)	「僧帽弁疾患の評価法」 講義B③ 講義B④ 「大動脈弁疾患の評価法」
	14:50 ~ 15:05 (15分)	休憩	移動・休憩	移動・休憩	休憩
	15:05 ~ 16:35 (90分)	実技講習③ (4~5名/1台)	実技講習① (3~4名/1台)	講義S①診断力を向上させる 「低流量・低圧較差AS」 講義S②診断力を向上させる 「僧帽弁逸脱と機能性MR」	講義S①診断力を向上させる 「低流量・低圧較差AS」 講義S②診断力を向上させる 「僧帽弁逸脱と機能性MR」
	16:35 ~ 16:50 (15分)	休憩	休憩	休憩	休憩
	16:50 ~ 18:20 (90分)	実技講習④ (4~5名/1台)	実技講習② (3~4名/1台)	講義S③診断力を向上させる 「人工弁を極める！」 講義S④診断力を向上させる 「感染性心内膜炎」	講義S③診断力を向上させる 「人工弁を極める！」 講義S④診断力を向上させる 「感染性心内膜炎」
	2 日 目	~ 9:30	集合・移動		
9:30 ~ 11:00 (90分)		実技講習⑤ (4~5名/1台)	「収縮能指標を臨床に活かす」 講義B⑤ 講義B⑥ 「拡張能指標を臨床に活かす」	実技講習③ (3~4名/1台)	「収縮能指標を臨床に活かす」 講義B⑤ 講義B⑥ 「拡張能指標を臨床に活かす」
11:00 ~ 11:15 (15分)		休憩	移動・休憩	移動・休憩	休憩
11:15 ~ 12:45 (90分)		実技講習⑥ (4~5名/1台)	実技講習③ (3~4名/1台)	講義S⑤診断力を向上させる 「心不全:基礎から運動負荷まで」 講義S⑥診断力を向上させる 「いろんな肺高血圧症」	講義S⑤診断力を向上させる 「心不全:基礎から運動負荷まで」 講義S⑥診断力を向上させる 「いろんな肺高血圧症」
12:45 ~ 12:55 (10分)		移動・休憩	移動・休憩	休憩	休憩
12:55 ~ 13:55 (60分)		ランチョンセミナー②「未定」			
13:55 ~ 14:05 (10分)		移動・休憩	移動・休憩	休憩	休憩
14:05 ~ 15:35 (90分)		実技講習⑦ (4~5名/1台)	「壁運動異常を見極める」 講義B⑦ 講義B⑧ 「症例から学ぶ報告書作成の実際」	実技講習④ (3~4名/1台)	「壁運動異常を見極める」 講義B⑦ 講義B⑧ 「症例から学ぶ報告書作成の実際」
15:35 ~ 15:50 (15分)		休憩	移動・休憩	移動・休憩	休憩
15:50 ~ 17:20 (90分)		実技講習⑧ (4~5名/1台)	実技講習④ (3~4名/1台)	講義S⑦診断力を向上させる 「ACS:梗塞から解離まで」 講義S⑧診断力を向上させる 「多彩な心筋症を見破る！」	講義S⑦診断力を向上させる 「ACS:梗塞から解離まで」 講義S⑧診断力を向上させる 「多彩な心筋症を見破る！」
17:20	閉会・解散				
講義内容	<p>「大臨技お勤めルーチン検査法」 大臨技が自信を持ってお勤めするルーチン検査法(検査の進め方)をわかりやすく解説します</p> <p>講義B①「心エコーに役立つ解剖のいろは」 心エコーに必要な心臓の解剖を概説し、心エコー検査に活かせる基礎知識を解説します</p> <p>講義B②「各種計測法のいろは」 各計測に関する標準的な方法、注意点・ピットフォール、さらに計測値の妥当性について解説します</p> <p>講義B③「僧帽弁疾患の評価法」 僧帽弁および僧帽弁複合体としての解剖や構造を解説した上で、エコーでの観察ポイントや評価法について解説します</p> <p>講義B④「大動脈弁疾患の評価法」 大動脈弁の解剖や構造を解説した上で、エコーでの観察ポイントや評価法について説明します</p> <p>講義B⑤「収縮能指標を臨床に活かす」 収縮能評価に関する指標を概説し、その考え方、注意点やピットフォールなどを解説します</p> <p>講義B⑥「拡張能指標を臨床に活かす」 拡張能評価に関する指標を概説し、その考え方、注意点やピットフォールなどを解説します</p> <p>講義B⑦「壁運動異常を見極める」 壁運動異常を見逃さないためのポイントや冠動脈を考慮した診断ができるように解説します</p> <p>講義B⑧「症例から学ぶ報告書作成の実際」 実症例を提示し、報告書作成のポイントを解説します</p> <p>講義S①「低流量・低圧較差AS」 新ガイドラインでも提唱されている低流量・低圧較差ASや奇異性ASなど、さまざまなASの理解を目指します</p> <p>講義S②「僧帽弁逸脱と機能性MR」 臨床でよく遭遇する僧帽弁逸脱と機能性MRに絞って、診断~報告、フォローアップに必要な内容を解説します</p> <p>講義S③「人工弁を極める！」 大動脈・僧帽弁における人工弁置換術後例における検査の進め方・その評価法を解説します</p> <p>講義S④「感染性心内膜炎」 この研修会では初めてのテーマである「感染性心内膜炎」について説明し、診断や報告書作成に必要なポイントを解説します</p> <p>講義S⑤「心不全:基礎から運動負荷まで」 心不全の病態を基礎から理解し、簡単な運動負荷を用いた診断法まで解説します</p> <p>講義S⑥「いろんな肺高血圧症」 肺高血圧症のニース分類に合致したさまざまな病態を解説し臨床に活かさせます</p> <p>講義S⑦「ACS:梗塞から解離まで」 急性心筋梗塞から大動脈解離まで、ACSがしっかり診断できるよう解説します</p> <p>講義S⑧「多彩な心筋症を見破る！」 各種心筋症のポイントを解説し、血行動態を加味した報告書の作成を目指します</p>				
募 集 人 員	100名(実技集中コース20名、ベーシックコース30名、スキルアップコース30名、講義集中コース20名)				
参 加 資 格	臨床検査技師、医師、放射線技師、他、医療従事者で心エコーを勉強したい方ならどなたでも参加できます				
参 加 費	全コース一律 会員21,000円・非会員22,000円(講義用テキスト代、昼食代2日分込み) ※実技集中コースにはテキストはありません(希望者への販売は行います) *会員とは、大阪府臨床検査技師会に所属している技師 非会員とは、大阪府臨床検査技師会に所属していない技師および他職種の方(大阪府以外の他府県技師会の会員は非会員となります)				
応 募 期 間	平成27年9月1日(火)~平成27年9月11日(金) 9月1日以前の申込みに関しては受付いたしません				
申 込 要 項	以下の項目を全て記入の上、メールにて下記アドレスへ申し込み下さい 1. 希望コース 2. 氏名 3. カナ氏名 4. 年齢 5. 性別 6. 職種 7. 施設名 8. 部署名 9. 施設住所 10. 施設電話番号 11. 緊急用携帯アドレス 12. 会員or非会員 13. 大臨技会員番号(会員のみ) 14. 経年数 15. あなたご自身の1ヶ月の検査件数(概算で結構です) (注意事項)原則、メールの返信は申込時のアドレスに返信します				
申 込 先	seiribuka@gmail.com 1メール1名でお願いします(同じメールアドレスを複数利用するのは可能です)				
主 催	大阪府臨床検査技師会 学術部 生理検査部門 問い合わせ先:西宮渡辺心臓・血管センター 川崎俊博(kawasaki4552@gmail.com) 0798-36-1880				